

がまったく存在していなかったなど、活動の継続性と透明性を保証する体制とその運用に不備があったことが確認されました。

今期の常任理事会は、このような反省に立ち、学会活動の事案に関して、常任理事会のメーリングリストに必ず情報を流すこととしました。また、新しい提案に関しては、常任理事会としての承認を得た後に実施する体制を確立しました。会長挨拶でも触れたように、常任理事会のメーリングリストに発信されたメールは1年間で3千件を超えました。これに加えて、会合形式の常任理事会も5回開催し、顔を会わせての議論は、計22時間にも及びました。その結果、学会誌の編集は編集委員長しか知らない、研究大会への発表申込状況は研究委員長しか知らない、会計の収支状況は事務局長しか知らないといったことはなくなりました。常任理事会全体での情報共有ができたとする所以です。

現在、規約ならびに諸内規に関する全面的な検討を行っており、また、必要な内規の新規整備にとり組んでいます。2015年度以降、規約改正の提案、諸内規の明文化と公開の準備を進める所存です。また、会報への常任理事会の議題、理事会の議事録の公開も実施に移しました。明文化された規約や内規の整備、会議の報告の公開は、学会運営の継続性に資するだけでなく、会員に対する運営状況の透明性を確保する上でも重要と位置づけています。こうした作業を今後も着実に積み重ねることが、前期に生じたような諸問題を再発させない根本的な策になると判断しています。

2015年度日本図書館情報学会春季研究集会のご案内

会員各位

会長 小田 光宏

2015年度春季研究集会を京都ノートルダム女子大学において、下記の要領で開催いたします。会員の皆様にはふるってご参加ください。参加を希望される方は、学会ウェブサイトから、所定の期日までにお申込み願います。

記

主 催：日本図書館情報学会

日 時：2015年5月30日（土） 10:15～17:00

場 所：京都ノートルダム女子大学（京都府）

住 所：〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1

<http://www.notredame.ac.jp/accessmap.html>

アクセス：

1. JR「京都駅」から（地下鉄乗車時間16分）地下鉄烏丸線「国際会館」行き乗車

→「北山駅」下車，1番出口から東へ徒歩7分（阪急・近鉄ご利用の方も、地下鉄にお乗り換えの上、北山駅で下車して下さい。）

1番出口を出たら東に直進してください。（左手に山が見えます。）

北山通りと下鴨本通りの交差点で信号を渡ってから右折し、ひとつ目の角を左折してください。

2. 京阪「出町柳駅」から（市バス乗車時間約 10 分）

市バス 4 号系統「上賀茂神社」行きに乗り換え（市バス「出町柳駅前」）

→「野々神町」下車すぐ、もしくは「北園町」下車北へ徒歩 5 分

「野々神町」バス停はノートルダム学院小前にあります。バス停から見て、小学校と同じブロックの反対側に大学正門があります。「北園町」バス停からは下鴨本通りを渡り、北（バスの進行方向）に向かい、北山通りとの交差点のひとつ手前を右折してください。

宿泊：5 月の京都はホテル等が混む可能性があります。早めの予約をお勧めします。

参加費：正会員 1,000 円、学生会員 無料、非会員 3,000 円

申込締切：2015 年 5 月 23 日（土）

申込先：学会ウェブサイト(<http://www.jslis.jp/>)からリンクをたどって申し込みをしてください。

備考：発表会場は、ユージニア館 3 階 ND ホール及び大講義室です。受付は会場前で行います。大学正門の正面にある建物にお入りください。

2015 年度春季研究集会(ノートルダム女子大学)プログラム

開始時刻	第 1 会場 (ND ホール)	
10:15~10:30	開会式	
10:30~11:00	小南理恵(筑波大学大学院)「読書の自由」の成立過程: 1953 年ウェストチェスター会議を中心に	
11:00~11:30	呑海沙織(筑波大学) 溝上智恵子(筑波大学) イギリスの公共図書館における認知症支援サービス	
11:30~12:00	安形輝(亜細亜大学) 公立図書館の資料選択に影響する要因: 2007 年の出版物の所蔵調査に基づく分析	
12:00~13:15	昼休み(1 時間 15 分)	
	第 1 会場 (ND ホール)	第 2 会場 (大講義室)
13:15~13:45	雪嶋宏一(早稲田大学) ゲスナー『総覧』および『神学の分類』の分類システムについて	藤牧功太郎(新宿区立中央図書館) 図書館サービスに対する住民意識に影響する属性について: 平成 26 年新宿区住民意識調査の結果と分析
13:45~14:15	村上孝弘(筑波大学大学院/龍谷大学) 事業報告書に見る私立大学図書館: 大学の長期計画と図書館運営	荻原幸子(専修大学) 地方自治体による公共図書館行政のガバナンスにおける「住民間の討議」
14:15~14:45	栗山正光(首都大学東京) 大学図書館における修士論文収集の現状と課題	葉袋秀樹(元筑波大学) 「公立図書館の設置および運営に関する基準案」(1967)
14:45~15:15	三根慎二(三重大学) 上田修一(立教大学) 誰がどのくらい大学図書館を利用しているのか	赤山みほ(筑波大学大学院) 地方公共団体における PFI を利用した複合施設内の公立図書館に関する調査
15:15~15:30	休憩(15 分)	

15:30～16:00	宮田洋輔(帝京大学) 安形輝(亜細亜大学) 池内淳(筑波大学) 検索エンジンの出力結果に影響を与える要因	田村英彰(国立国会図書館) 公共図書館ホームページにおける法情報提供状況の調査
16:00～16:30	杉江典子(駿河台大学) 館内位置情報を用いた利用者集団の識別: 移動経路の類似度を用いた利用者のクラスタリング	稲富明子(筑波大学大学院) 学校図書館における貸出記録管理の現状および教員・図書館担当者・図書委員の意識
16:30～17:00	村上晴美(大阪市立大学) 唐振国(大阪市立大学) 栗原篤(大阪市立大学) 件名標目の可視化デザインの調査と試作	宮田玲(東京大学大学院) 浅石卓真(愛知淑徳大学) 矢田竣太郎(東京大学大学院) 教科・単元に関連した図書を自動収集する試み: 中学社会地理的分野を対象として

学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦募集

学会賞選考委員会

2015年度の日本図書館情報学会賞、奨励賞、論文賞の候補に関する推薦を下記のとおり、募集いたします。自薦・他薦を問いません。多くの会員からの候補の推薦をお待ちしております。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞 副賞 20 万円
- (2) 日本図書館情報学会論文賞 副賞 10 万円
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞 副賞 10 万円

2. 選考対象

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：本学会の正会員・学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員（若手研究者）

3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2013 年度もしくは 2014 年度（2013.4.1～2015.3.31）に日本語もしくは英語で発表された単著の図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：『日本図書館情報学会誌』第 60 巻第 2 号から第 61 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞
 - a. 『日本図書館情報学会誌』第 60 巻第 2 号から第 61 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による単著論文
 - b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの

4. 選考

学会賞選考委員会において以下の選考基準に照らして審査し、理事会の承認を得て決定する。